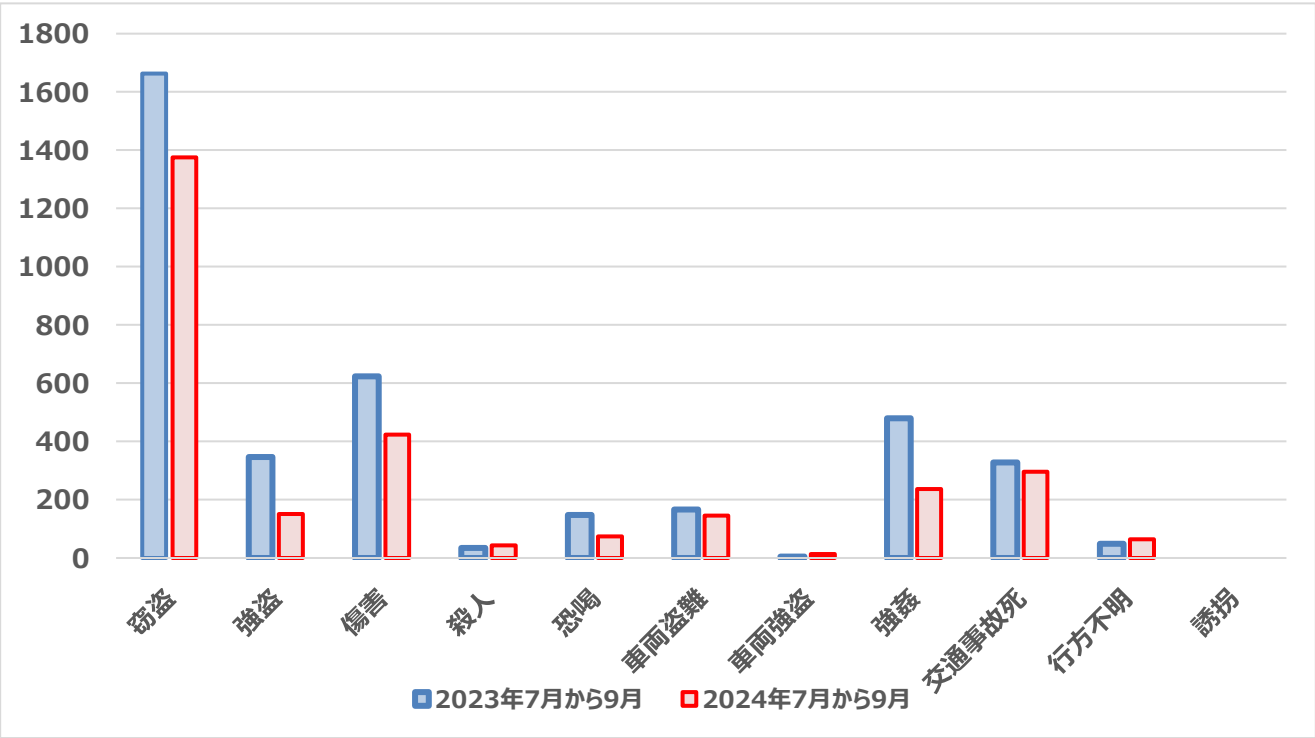


海外安全対策情報

1. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

2024 年 7 月から 9 月におけるエルサルバドル国内での犯罪統計は以下のとおりです。

	2023 年 7 月から 9 月	2024 年 7 月から 9 月	前年差
窃盗	1,663	1,375	-288
強盗	347	151	-196
傷害	624	423	-201
殺人	35	43	+8
恐喝	148	74	-74
車両盗難	166	146	-20
車両強盗	5	14	+9
強姦	480	237	-243
交通事故死	328	296	-32
行方不明	49	64	+15
誘拐	0	0	0
合計	3,845	2,823	-1,022



2024 年 7 月から 9 月における主要犯罪発生件数は、2023 年の同時期と比較して大幅に減少しました。2022 年 3 月に発効、現在も継続中である、「例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置）」によりギャングの取締りを強化したことで、犯罪が減少傾向となっています。しかし、当国は人口比では依然として日本よりも犯罪が多い国であるため、基本的な防犯対策を継続していただき、十分に注意するようにお願いいたします。また、交通事故死の件数は前期比と比較して減少しましたが、車両運転時はスピードを抑え、車間間隔を空け、安全運転を心がけるようお願いいたします。

2. 邦人被害事案

日本人の被害は報告されていません。

3. テロ・爆弾事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

日本人の被害は報告されていません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題

特に報告はありません。

6. 治安関連報道

(1) 「例外措置体制（憲法で保障される権利の一時的制限措置）」の期間延長（7 月 1

0 日、8 月 9 日及び 9 月 4 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

7 月 9 日、8 月 8 日及び 9 月 3 日の各月、当国議会は、例外措置体制（
憲法で保障される権利の一時的制限措置（30 日間））の期間延長を承認した。

9 月 3 日の延長は 2 0 2 2 年 3 月の発令から 3 0 回目の延長となる。

(2) 治安改善による国際ボランティアの増加（9 月 4 日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

ブケレ大統領の治安対策によりエルサルバドルの治安は改善され、国際協力による国内プロジェクトの増加が可能となった。カルラ・デ・パルマ国際協力局（ESCO）局長は、A:M のインタビューで、国内では国際ボランティア専門家の人数が増加しており、彼らは地方に配置されていると述べた。

同局長によると、以前は日本の専門家は治安の悪さから地方での活動ができなかったが、現在では安心して各地区や村に出張し、様々なプロジェクトが実施できるようになった。「治安面では、エルサルバドルは技術的な協力を提供できる。多くの国々が、エルサルバドルで何が行われているか知りたがっている」と述べた。また、エルサルバドルは他国と共有できる優れた取り組み事例を拡大しており、福祉・機会都市センター（CUBO）は、協力国にとって関心のあるテーマであると述べた。

ESCO は、過去 5 年間に 6 , 1 0 0 万ドルの援助を得て、1 1 4 地区でプロジェクトを

35件実施した。さらに、奨学金が1,890件以上供与され、現在、エルサルバドルの青少年を対象に募集が28件行われている。

(3) アリアサ・チカス国家文民警察長官の殉職（9月9日付ディアリオ・エルサルバドル紙）

9月8日午後11時14分頃、エルサルバドル空軍のヘリコプターが、ラ・ウニオン県パサキーナ地区サン・エドゥアルド村で墜落した。同ヘリコプターには、ホンジュラスから引き渡された横領事件の容疑者である元 COSAVI（サンタビクトリア信用金庫）のマヌエル・コト氏が搭乗しており、国境のエル・アマティージョからサンサルバドルにある警察調査局へ移送する間に墜落事故が発生した。同ヘリコプターには9名が搭乗しており、搭乗者全員が死亡した。

搭乗者は、アリアサ・チカス国家文民警察長官、オマール・ガルシア国家文民警察局長、ロメロ・トレス国家文民警察調査局長、元 COSAVI のマヌエル・コト容疑者、軍人4名及び新聞記者1名であった。ブケレ大統領は、アリアサ・チカス国家文民警察長官に敬意を表して、国全体及び大使館・領事館に対して3日間の半旗を掲揚するよう指示した。

以上